

# プレス発表資料

平成17年9月 日

## 新型バラスト水浄化処理実験プラントの完成

独立行政法人 海上技術安全研究所  
株式会社 大晃産業

独立行政法人海上技術安全研究所（理事長 中西堯二）と株式会社大晃産業（社長 松本隆弘）は、S&O 技術開発基金の補助を受け、粒状無煙炭濾過材を用いたバラスト水浄化処理実験プラントを完成しました。今後は、このプラントに実際の海水を流し、計画どおりの性能が得られるかどうかを検証することとしています。

### 1. 背景

船舶においては、バラスト水として海水を漲排水しているため、海洋生物が国際間にて移動することになり、海洋生態系や水産業などに被害をもたらしております。このため、IMO(国際海事機関)のMEPC（海洋環境保全委員会）の審議を経て平成16年2月「船舶のバラスト水及び沈殿物の規制並びに管理のための国際条約」が採択されました。条約に適合するバラスト水処理装置の開発研究が国内外で活発化しており、特に、バラスト水の輸出大国である我が国にとって行政的緊急性は高く、その開発が急がれています。

### 2. 概要

この実験プラントは、海上技術安全研究所が特許出願し、公開中(特開 2005-152799)の「船舶用バラスト水処理装置」をベースにシステムとして組み上げたものです。船舶用としては世界で初めて濾過材に粒状無煙炭（アンスラサイト）を使用しています。このプラントの濾過方式は、簡便な逆流洗浄で繰り返し使用が可能で、海洋生物による目詰まりが起きにくいという特徴をもっています。

本プラントは、更に、航海中に濾過水を次々と空のタンクに移し替える方式（循環/シフト型）等を採用し、船舶搭載可能な小型・省エネ型の装置となっております。今後は、このプラントに実際の海水を流し、計画どおりの性能が得られるかどうかを検証することとしています。

**本件に関するお問い合わせ**

独立行政法人 海上技術安全研究所 山根健次

〒573-0034 交野市天野が原町 3-5-10 TEL072-891-6289 Fax072-891-6274

株式会社 大晃産業 猪原祥行

〒722-0073 広島県御調郡向島町 9515 番地の 1 TEL 0848-44-5000 Fax 0848-44-5779



大晃産業にて組み立て中のバラスト水浄化処理プラント（10月5日通水式予定）